

ヴェス、SBOM 生成・脆弱性管理・CRA 対応を支援するクラウドサービス「SBOM+ (SBOM plus)」を正式提供開始

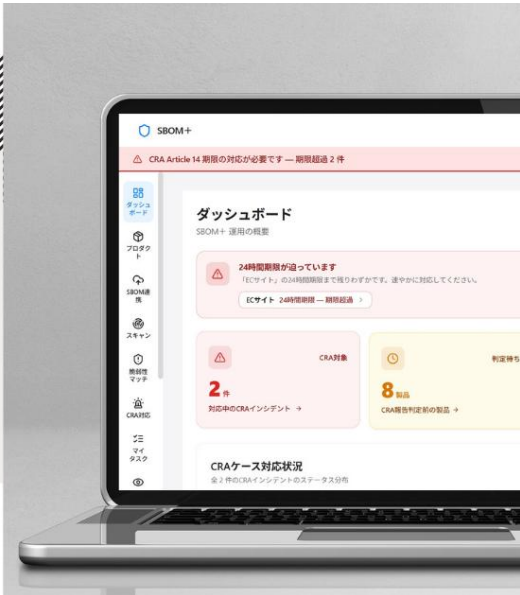
～2026 年 9 月 1 日より正式提供開始、導入前のトライアルにも対応～

株式会社 Orchestra Holdings（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中村 慶郎）の子会社である株式会社 ヴェス（本社：東京都渋谷区、代表取締役：中村 慶郎、以下「ヴェス」）は、製品セキュリティ管理に必要な SBOM（Software Bill of Materials）の生成・管理、脆弱性情報の収集・管理、EU サイバーレジリエンス法（以下、CRA）への対応および証跡管理を支援するクラウドサービス「SBOM+ (SBOM plus)」（以下、「SBOM+」）の正式提供を、2026 年 9 月 1 日より開始いたします。



SBOM生成・脆弱性管理・CRA
対応を支援するクラウドサービス
「SBOM+ (SBOM plus)」を
正式提供開始

2026年9月1日より正式提供開始、
導入前のトライアルにも対応





■ 「SBOM+」正式提供開始について

近年、OSS やサードパーティコンポーネントの利用拡大に伴い、ソフトウェアサプライチェーンにおけるセキュリティリスクへの対応が重要となっています。また、CRA をはじめとする法規制への対応に向け、SBOM の管理や脆弱性対応、対応履歴・証跡の管理が求められています。

「SBOM+」は、こうした製品セキュリティ管理に関わる情報を一元管理し、企業における継続的な脆弱性対応を支援するクラウドサービスです。

2026 年 7 月より β 版の提供を開始し、正式提供に向けてサービスの機能・運用面の整備を進めてまいりました。このたび、SBOM 生成から脆弱性情報管理、VDP 対応、CRA 対応に必要な証跡管理まで、製品セキュリティ管理を効率化するサービスとして、正式版の提供を開始いたします。

■ 「SBOM+」が支援する課題

製品セキュリティ管理では、SBOM の作成だけでなく、ソフトウェアコンポーネントの継続的な把握、脆弱性情報の収集・評価、関係部門との情報共有、外部から報告された脆弱性への対応、対応履歴・証跡の管理など、さまざまな業務を継続的に行う必要があります。

「SBOM+」は、これらの業務を一元的に管理することで、以下のような課題の解決を支援します。

- ・ CRA 対応の運用管理を自動化・一元化したい
- ・ OSS やサードパーティコンポーネントの利用状況を把握できていない
- ・ SBOM を作成しても更新・管理が続かない
- ・ 脆弱性情報を手動で確認している
- ・ PSIRT・開発・品質保証部門間で情報共有が煩雑
- ・ 外部からの脆弱性報告への対応フローが整備されていない

■ 「SBOM+」の主な特長

1. 多様な形式に対応した SBOM 生成・管理

「SBOM+」は、ソースコード、バイナリ、コンテナイメージなど、多様な入力形式から SBOM を生成・解析できます。生成・登録した SBOM を製品単位で一元管理することで、製品に含まれるソフトウェアコンポーネントの把握や変更管理を支援します。

また、複数の SBOM フォーマットやバイナリ種別に対応し、製品ごとのソフトウェア構成情報を継続的に管理できます。

2. 脆弱性情報の収集・トリアージ

生成した SBOM に含まれるコンポーネントと関連する脆弱性情報を紐付け、製品ごとのセキュリティリスクを把握できます。

脆弱性の緊急度や悪用実態を示す KEV（Known Exploited Vulnerabilities）情報などを活用し、対応すべき脆弱性の優先順位付けや影響範囲の把握を支援します。

3. 製品の脆弱性対応を一元管理

製品の脆弱性対応では、PSIRT（Product Security Incident Response Team）、製品開発部門、品質保証部門など、複数の部門が連携して対応する必要があります。

「SBOM+」では、製品ごとの SBOM、関連する脆弱性、対応状況などを一元管理し、脆弱性の発見から影響分析、対応方針の決定、修正状況の管理まで、対応状況を可視化します。

また、外部から報告された脆弱性についても、受付、一次評価、影響分析、対応方針の決定、開発部門への対応依頼、修正状況の管理、報告者とのコミュニケーション、情報開示までの対応状況を管理できます。

4. CRA 対応に向けた証跡管理

脆弱性管理、報告対応、情報開示などに関する対応履歴を蓄積・管理し、CRA への対応に必要となる情報

の整理を支援します。

製品ごとの対応状況や履歴を一元管理することで、規制対応や監査等における説明責任の確保を支援します。

■ プランについて

「SBOM+」では、利用する製品数や必要な機能に応じて、フリー、スターター、プロ、エンタープライズの4つのプランをご用意しています。

一部機能は無償でご利用いただけるフリープランのほか、より多くの製品を管理できる有料プランを提供しており、製品数や運用体制に応じてご利用いただけます。

全プラン共通で、1製品あたりのSBOM生成数に制限を設けておりません。SBOMの生成数を気にすることなく、製品の開発・更新に合わせて柔軟にご利用いただけます。

また、導入を検討される企業向けに、プロプランの機能を3製品までお試しいただけるトライアルをご用意しています。実際の運用を想定してサービスをご利用いただくことで、自社の運用への適合性を確認したうえで導入をご判断いただけます。

※エンタープライズプランのトライアルをご希望の方はご相談ください。

各プランの詳細は以下のとおりです。

＼ 無料トライアル受付中 ／

プラン		フリー（※1）	スターター	プロ	エンタープライズ
機能	料金	無料	有料	有料	有料
	SBOM管理（※2）	1製品	3製品	10製品	無制限
	脆弱性管理	脆弱性検知のみ	●	●	●
	ワークフロー管理	—	—	●	●
	データダウンロード（※3）	—	▲	▲	●
	CRA・監査対応	—	—	●	●
	CI/CD連携・先端技術	—	—	—	●
	プロフェッショナルサポート（※4）	—	—	—	●

- （※1） 利用期間は利用開始日から1か月間となります。ご利用人数は制限させていただく場合がございます。
- （※2） 1製品あたりの管理対象となるSBOM生成回数は無制限。
- （※3） スターターおよびプロプランにはSBOMファイル（SPDX/CycloneDX）エクスポートは標準提供。
エンタープライズプランでは脆弱性ファイルおよび監査ログファイルエクスポート機能を提供。
- （※4） カスタマーサクセス・CRA規制アップデートブリーフィング対応。

■ サービス概要

サービス名： SBOM+

提供開始： 2026 年 9 月 1 日

提供形態： クラウドサービス

販売元： 株式会社ヴェス

共同開発： Viettel Cyber Security、アートネット株式会社

サービスの詳細、対応する SBOM フォーマット・バイナリ種別、ご利用までの流れについては、サービスページをご覧ください。

【SBOM+ サービスページ】

<https://www.ves.co.jp/service/sdlc/sbom>

■ 「SBOM+」に関するお問い合わせ

「SBOM+」の導入をご検討の企業・部門を対象に、サービスに関するお問い合わせやトライアルのご相談を受け付けています。SBOM の運用、製品の脆弱性管理、CRA 対応などについて課題をお持ちの場合も、お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】

<https://www.ves.co.jp/sbomcontact/>

また、一部機能が無償でご利用いただけるフリープランもご用意しています。

【お申し込み】

<https://www.ves.co.jp/sbom-free/>

■ リセラー募集について

当社では、「SBOM+」の普及を通じて、企業の SBOM 管理およびソフトウェアサプライチェーンのセキュリティ対策を支援するため、販売パートナー（リセラー）を募集しています。

SBOM+の取り扱いにご関心のある企業様は、ぜひお問い合わせください。

E-mail : ves_sec@ves.co.jp

■ 株式会社 Orchestra Holdings

所在地：東京都渋谷区恵比寿四丁目 20 番 3 号

代表取締役社長：中村 慶郎

事業内容：グループ戦略の立案、実行および子会社経営管理

URL : <https://orchestra-hd.co.jp/>

■ 株式会社ヴェス

所在地：東京都渋谷区恵比寿四丁目 20 番 3 号

代表者：代表取締役 中村 慶郎

事業内容：ソフトウェア品質検証事業、ソフトウェア開発事業

URL：<https://www.ves.co.jp/>

■ 共同開発会社

企業名：Viettel Cyber Security

代表者：Chairman, CEO グエン・ソン・ハイ

所在地：Lot D26, Cau Giay New Urban Area, Dich Vong Ward, Cau Giay District, Hanoi, Vietnam
(ハノイ市カウザイ区ディックヴォン地区 カウザイ新都市 D26 区画)

URL：<https://viettelsecurity.com/>

企業名：アートネット株式会社

代表者：代表取締役 ファン クアン チュオン

所在地：東京都新宿区西新宿 2 丁目 6 番 1 号 新宿住友ビル 18F

URL：<https://www.art-net.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社 Orchestra Holdings コーポレートマネジメント部門

E-mail：ir@orchestra-hd.co.jp